静岡市公共下水道

ウォーターPPP導入検討に関する
マーケットサウンディング調査
補足資料

令和７年９月26日

はじめに

【目次】

１．対象処理区・施設別の包括レベルの検討について・・・・・・P. 3

２．対象業務の検討について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4

３．今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5

４．用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 6

【本資料の位置付け】

本資料は、参考資料の情報を補完するための資料です。

１．対象処理区・施設別の包括レベルの検討について

静岡市では、ウォーターPPPの対象として、静清・北部・南部の3処理区を一括で対象とし、検討を進めています。３処理区の全施設（管路、雨水ポンプ場、汚水ポンプ場、マンホールポンプ、処理場）について更新実施型の導入を想定しております。

※本資料の内容は今後の検討により、変更となる可能性があります。

<table>
<tr><th>施設
処理区</th><th>管路</th><th>雨水ポンプ場</th><th>汚水ポンプ場</th><th>マンホール
ポンプ</th><th>処理場</th></tr>
<tr><td>静清</td><td rowspan="3">レベル3.5
(更新支援型or
更新実施型)</td><td colspan="4" rowspan="3">レベル3.5
(更新実施型)</td></tr>
<tr><td>南部</td></tr>
<tr><td>北部</td></tr>
</table>

2．対象業務の検討について

静岡市では、静清処理区および南部処理区の一部施設において、すでに包括的民間委託を導入しています。

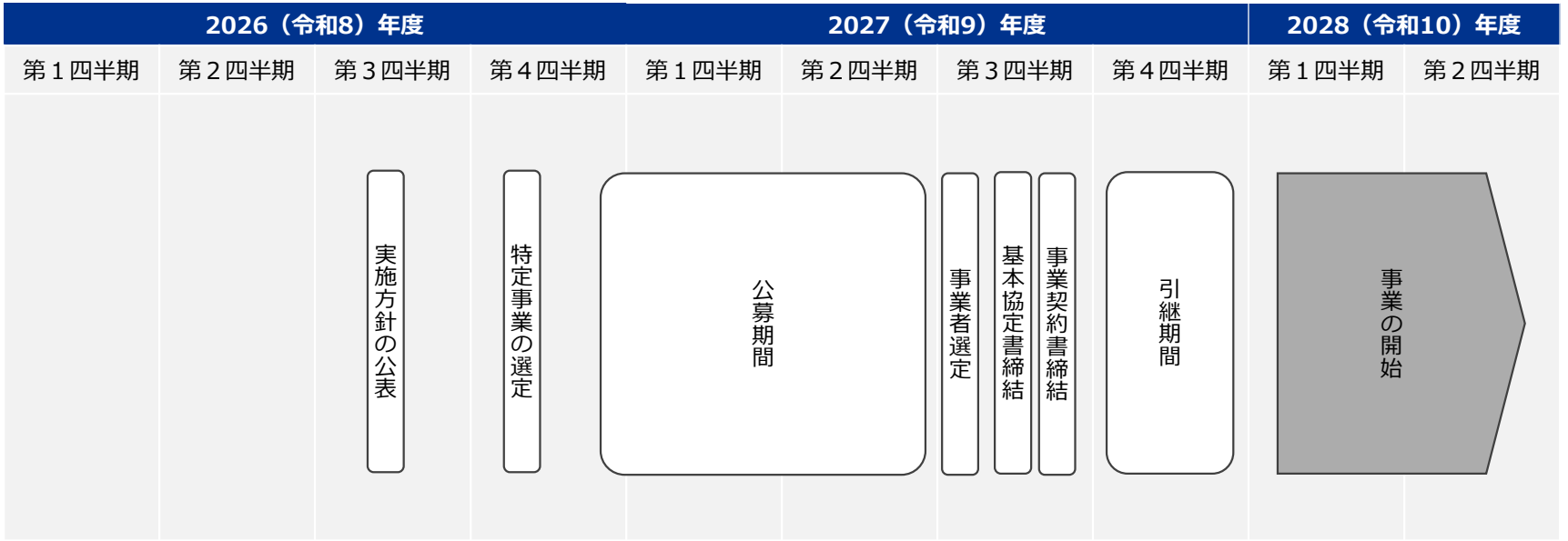
：包括的民間委託導入済み　　：WPPP事業開始時より委託範囲に追加することを検討

ウォーターPPP

処理区	施　設	レベル1	レベル2	レベル2.5	レベル3	レベル3.5（更新支援型）	レベル3.5（更新支援型・CM業務を含む）	レベル3.5（更新実施型）
		水質管理，運転操作，保守点検	ユーティリティ調達・管理	一定金額以下の修繕	修繕計画案作成・実施	更新計画案作成	左記に加え、CM業務を含む	更新工事
静清	管路							
	雨水ポンプ場							
	マンホールポンプ	■	■	■				
	処理場	■	■	■				
南部	管路							
	雨水ポンプ場							
	汚水ポンプ場	■	■	■				
	マンホールポンプ	■	■	■				
	処理場	■	■	■				
北部	管路							
	汚水ポンプ場							
	マンホールポンプ							
	処理場							

3. 今後のスケジュールについて

以下のスケジュールを予定しておりますが、今後の状況により変更となる場合があります。



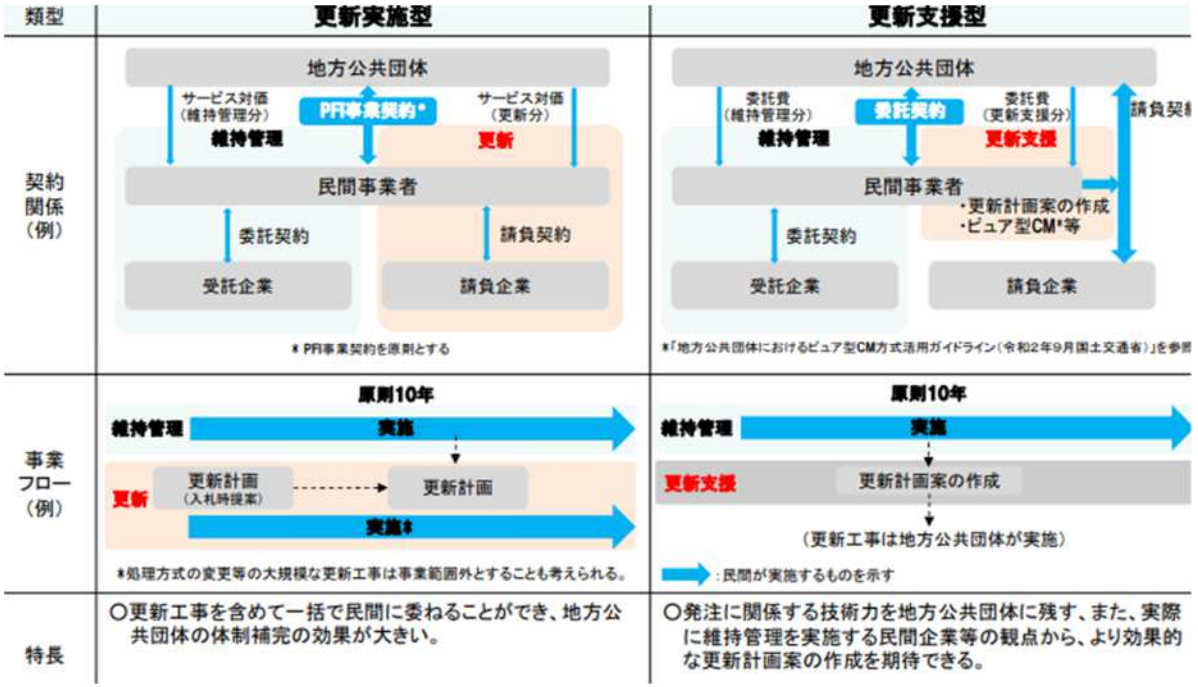
４．用語解説

- 維持管理と更新（改築）の一体マネジメント（ウォーターPPPレベル3.5）

維持管理と更新を一体的に最適化するための事業方式であり、維持管理と更新を一体的に実施する「更新実施型」と、更新計画案の策定やコンストラクションマネジメント（CM）により地方公共団体の更新を支援する「更新支援型」の２方式がある。また、この管理・更新一体マネジメント方式を、ウォーターPPPレベル3.5と呼ぶ。

- コンストラクションマネジメント（CM）

発注者の補助者・代行者であるコンストラクション・マネジャー（CMr）が、技術的な中立性を保 ちつつ発注者の側に立って、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、コスト管理などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行うもの。



出典：ウォーターPPP導入検討の進め方について（国土交通省）

４．用語解説

- 性能発注

  発注者が求めるサービス水準を明らかにし、事業者が満たすべき水準の詳細を規定した発注方式。

- 仕様発注

  発注者が施設の構造、資材、施工方法等について、詳細な仕様 を決め、設計書等によって民間事業者に発注する方式。

- ストックマネジメント

  長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改善を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化すること。

- 一元的管理業務

  これまで発注者側の役割であった、維持管理・計画・改築更新等の多岐にわたる業務を統括的に管理すること。「下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン2.0版（国土交通省） 」の「統括・マネジメント業務」と同義。

- SPC（特別目的会社）

  特定の事業の実施を目的として設立される法人、ある特別の事業を行うために設立された事業会社のこと。PFI事業やコンセッション方式では、公募提案する共同企業体が、新会社（＝SPC）を設立して、建設・運営・管理にあたることが多い 。